

性の多様性と人権 ～あいのままの自分を生きる～



▲2023年1月に出版された講師の宮城さんの電子書籍。

那覇市は、2015年7月「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)を発表しました。翌年には「那覇市パートナーシップ登録」(2016年7月、全国で5例目)を開始し、2022年10月には、「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」がスタートしました。

今回の講座では、宮城里沙さんを講師にお招きし、宮城さんの経験と活動に基づいた「性の多様性と人権」についての考え方をお聞きます。

性的指向(= Sexual Orientation)や性自認(= Gender Identity)などに関して「生きづらさを感じている人がいる」という事実に向き合い、正しい知識を得、多様な生き方を尊重し合う社会づくりのための学びの機会とします。



日時：3月18日(土) 午後2時～4時

講師：宮城 里沙 さん (「いろんな想いのカタチ」代表)

会場：なは女性センター 第2学習室

対象者：関心のある方

定員：36人 (事前申込先着順)

*市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用できます。3月10日(金)までにお申し込みください。
なお、一時保育は当面の間、休止いたします。

●講師プロフィール

沖縄県糸満市出身。1989年生まれ。臨時教諭として10年間島尻地区の小学校で勤務。幼少期から男らしさ、女らしさを押しつけられる社会に違和感を持ってきた自身の経験をもとに、現在は「性の多様性」セミナー講師として活動中。校内研修講師、教員向け研修講師、小中高校生講演会、個人セミナーなどを通して「あいのままのあなたを大切に」というメッセージを伝えている。現在、豊見城市立とよみ小学校で非常勤講師として勤務。Coffee Flow 827というcafeの経営も行っている。

2023年1月26日に、電子書籍『あいのままのあなたで大丈夫』(SOLBOOKS)出版。プライベートでは、同性のパートナーと同性婚であり事実婚(糸満市は、パートナーシップ制度がまだ導入されてないため)している。ママ二人、子ども一人の3人家族で生活している。



講座申込みは、QRコードから可能です。

なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い

「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。



第2回 女性のための心とからだセミナー

婦人科の受診に
ためらいがある方に
オススメです。

更年期をより良く過ごすために 知っておきたいヘルスケア

女性のからだは、月経が開始し思春期を迎え、妊娠・出産に適した性成熟期を経て、閉経の時期である更年期そして老年期というライフサイクルの中で、女性ホルモンの影響を大きく受けます。

更年期に訪れるからだの変化に閉経がありますが、日本での閉経の平均年齢は50歳前後といわれています。その年齢前後にからだの不調を感じる方も多く、気分が落ち込んだり、わけもなくイライラしたりとメンタル面で日常生活に支障をきたしていることもあるかと思います。更年期やその後の人生を快適に過ごすために、自分にあった心とからだの健康について考え、その症状や治療法などについて専門医から学びます。

日時: 3月3日(金) 午後7時~8時30分

おおしま きょうこ

講師: 大島 教子先生 (Joyレディースクリニックくもじ 院長)

会場: なは女性センター 第2学習室

対象者: 関心のある方

定員: 36人(事前申込先着順)

*市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用できます。
2月24日(金)までにお申し込みください。なお、一時
保育は当面の間、休止いたします。

講座のお申込みは、左記のQRコードからできます。

●講師プロフィール

医学博士/日本産科婦人科学会専門医/
日本女性医学会女性ヘルスケア専門医。
久茂地小学校、那覇中学校、那覇高等学校
卒業。平成2年獨協医科大学卒業後、
総合病院、大学病院で主に周産期医療に従事。平成28年5月Joy
レディースクリニックくもじ開設。女性の各ライフステージに
生じる種々の健康上のトラブルに幅広く対応しています。



「女性の健康週間」(3/1~3/8) 女性が生涯を通じて明るく、充実した日々を自立して過ごすためには、生活の場(家庭、地域、職域、学校)を通じて、女性の様々な健康問題を社会全体で総合的に支援することが重要です。厚生労働省では、毎年3月1日~3月8日までを「女性の健康週間」と定め、女性の健康づくりを国民運動として展開しています。なは女性センターでは、この期間に合わせ、「女性のための心とからだセミナー」を開催いたします。



★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。
☆貸出し期間: 2週間 お一人2冊まで

新着本
です♪

①『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』

新聞労連ジェンダー表現
ガイドブック編集チーム著
小学館/2022年3月発行/254ページ



③『一万年生きた子ども』

統合失調症の母をもって
ナガノハル著/現代書館
2021年11月発行/230ページ



②『沖縄とセクシュアリティの社会学』

ポストコロナル・フェミニズムから問い直す
沖縄戦・米軍基地・観光
玉城福子著/人文書院/
2022年2月発行/306ページ



④『ノンバイナリーがわかる本』

heでもsheでもない、theyたちのこと
エリス・ヤング著/上田勢子訳
明石書店/2021年12月発行/349ページ



講座を 終えて

講座名:今！憲法9条・24条・25条を考える
開催日:2022年12月10日(土)午後2時～4時 参加者:10人
講師:高良 沙哉さん(沖縄大学人文学部福祉文化学科教授)

日本国憲法は、1946年11月3日に公布され、翌年の1947年5月3日に施行されました。しかし、戦後アメリカの統治下にあった沖縄では、1972年5月15日まで日本国憲法が適用されていませんでした。「小学生の時に憲法を知り、憲法が大好きになった」という講師の高良さん。「平和主義はどこから来たのか」や「日本国憲法平和主義の意義」などについてお話をいただきました。

憲法9条では「戦争の放棄」が第2章に記され、「戦争放棄・戦力の不保持・交戦権の否認」が明記されています。しかし、沖縄は戦後77年経ってもなお、「不発弾の処理」や「遺骨の収集」が終わらず、米軍基地は居座り続けています。さらには、名護市辺野古では米軍の新基地が建設されています。

憲法24条については、「家庭生活における個人の尊厳と両性の平等規定」において、その「両性」の解釈が身体的な性である「女」と「男」と限定されているのです。同性を愛することで、LGBTQ+の当事者が社会的な権利や法的な保障を受けられないのが現状です。「同等の権利」を保障するための広義の「法解釈」が必要だと感じました。

憲法25条では、「すべての国民は『健康で文化的な最低限の生活を営む権利』を有する」とあります。コロナ禍でも資産を増やした人たちと、失業・貧困にさらされる人たちとの格差は広がりました。女性や若者の自殺も増えています。苦し

い立場に置かれた人々をいっそう追いつめているこのような状態の社会において、生存権が保障されていると言えるのでしょうか。

今だからこそ、すべての人たちが共に生き延びられる社会に向けた取り組みが必要です。憲法の9条・24条・25条を学び直すことで「私」に何ができるのかを問い直し、考える有意義な時間となりました。



▲講師の高良さん。



桜坂劇場
2/18(土)
～2/24(金)
昼12:40～(1日1回)



特別編
*追加シーンも！

応援映画
『沖縄カミングアウト物語』
くつきママのバグ×2珍道中！
当事者はもちろん、家族や友人の方にも観てほしい。

LGBTQ+の「カミングアウト・ストーリー」をテーマとしたドキュメンタリー映画が期間限定で上映されます。この機会に観て頂ければと思います！

後援:那覇市・ピンクドット沖縄
九州レインボープライド実行委員会
沖縄タイムス社
監督:松岡弘明
映画『沖縄カミングアウト物語』
official Website
<https://okinawacomingoutstory.com>

講座を 終えて

講座名:「ジェンダーあれこれ☆まわし読み新聞」
開催日:2023年1月16日(月)午後7時～8時30分 参加者:14人
講師:関戸 塩さん(琉球新報社プロモーショングループ長)

ジェンダーについて語り合える場づくりを目指し、「ジェンダーあれこれ☆まわし読み新聞」を企画・開催しました。参加者14人が4グループに分かれて気になる記事を紹介し合い、ジェンダーの視点から意見を交わした後、オリジナリティーあふれる壁新聞を完成させました。

講師を務めた琉球新報社プロモーショングループ長の関戸塩さんは冒頭、この日のために準備した「ジェンダー落語」を披露。笑いの要素を交えつつも、DVという難しいテーマを考えさせる見事な話術の関戸さん。リラックスした雰囲気にもまれ、講座が始まりました。

関戸さんは「新聞の見出しは記事を凝縮したもの。まずは見出しから読んでください」などと、短時間でニュースのポイントを押さえるための読み方を紹介しました。続いてグループごとに気になる記事を選んで紹介し合った後、互いの考えを披露したり意見を深めたりしました。

新聞にはあらゆるジャンルのニュースや情報が掲載されています。ジェンダーという切り口であらためて記事を眺め、他の方の意見に耳を傾けることで、「いろんな意見や考え方、物事の見方があるんだ！」などと視野が広がり、多

くの気づきができることを参加者の皆さんと一緒に体感することができました。

女性センターでは今後も月1回程度、「ジェンダーあれこれ☆まわし読み新聞」を継続開催する予定です。気になる方は、スタッフまでお声掛けください。



▲制作した「まわし読み新聞」を発表する参加者



▲講師の関戸塩さんによる、「ジェンダー落語」の様子。



なは女性センターの入口に「まわし読み新聞」を掲示しています！

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

098-861-7515
月～土 午前9時～12時 / 午後1時～5時

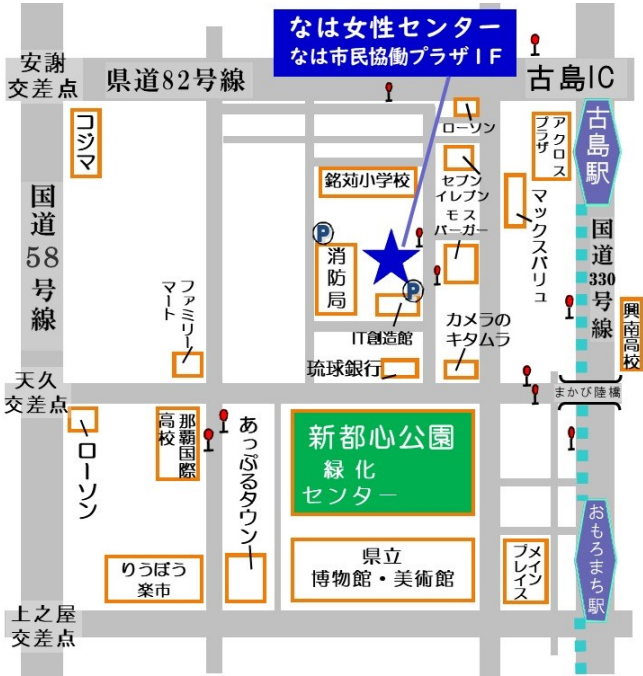
「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

周辺地図



駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

| | |
|----------------------------|------|
| 最初の2時間まで | 100円 |
| 最初の2時間を超え1時間までごとに | 100円 |
| ※利用時間が1時間に満たない場合は1時間として計算。 | |

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」は、市長がパートナーシップ・ファミリーシップの関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、「登録証明書」及び「登録証明カード」を交付するものです。

- 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(相続、税金の控除など)が生じるものではありません。
- お問い合わせ・申請の予約

登録数 **47組**

2023年2月10日現在

*これまでに登録された方へも「登録証明カード」の交付ができます。

TEL. **098-951-3203** ◆月～金:午前9時～午後5時

* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始(12/29～1/3)を除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

開催日時: 2023年3月25日(土)午後2時～4時

場所: なは女性センター(なは市民協働プラザ1階)

テーマ: 「好きな本(LGBTQ+関係・絵本や漫画OK)を持ち寄って語ろう」

主催: 市民団体てぃーだあみ

メール: tiidaami.okinawa@gmail.com

※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。



with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター



はやくワンストップ

TEL **#8891**

24時間

365日



※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、申込みQRコードでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問い合わせ

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)

TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204

Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間

月～金:午前9時～午後9時

土曜日:午前9時～午後5時

休館日

年末年始(12/29～1/3)

日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)



なは女性センター
メール



なは女性センター
ホームページ



f Facebook